

## 住みたくなる地域・生活環境の充実

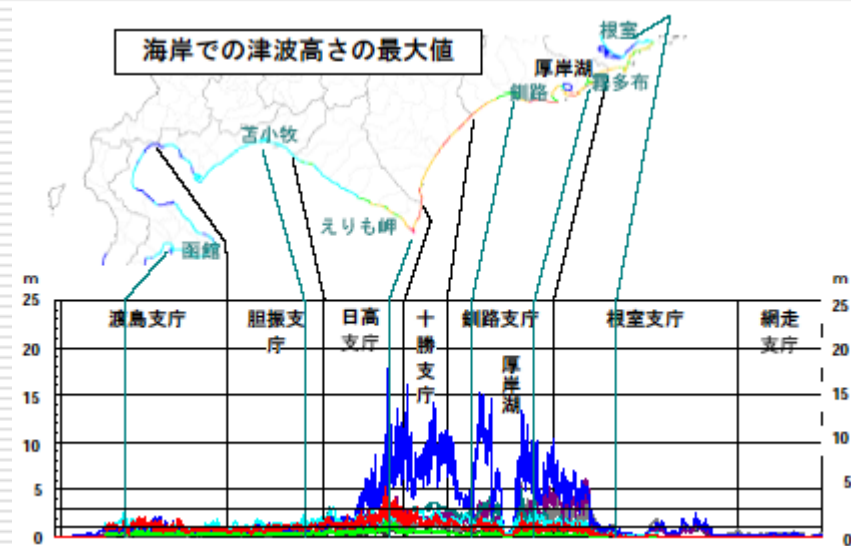
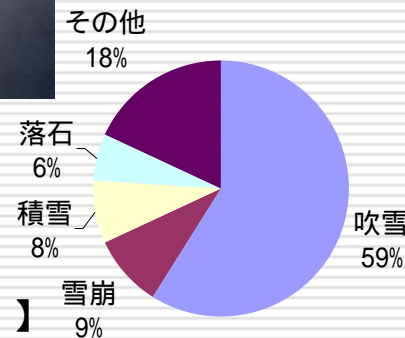
### 地震・豪雪の状況

釧路・根室地域は、地震活動が活発な地域で、これまでも地震による被害に見舞われているほか、中央防災会議が公表した「五百年間隔で発生しうる地震」による津波の推計値では、津波高さの最大値が釧路管内で15mになるなど、甚大な被害が予想されている。

また、雪に関する災害などにより通行止めが多発している地域でもあり、特に吹雪は通行止めの原因の過半数を占めており、昨冬季も多雪等による被害を被っている。



【要因別通行止め履歴  
(平成5～15年)】



資料) 釧路開発建設部資料及び中央防災会議資料等により作成

## 東アジアなどとの関係の強化

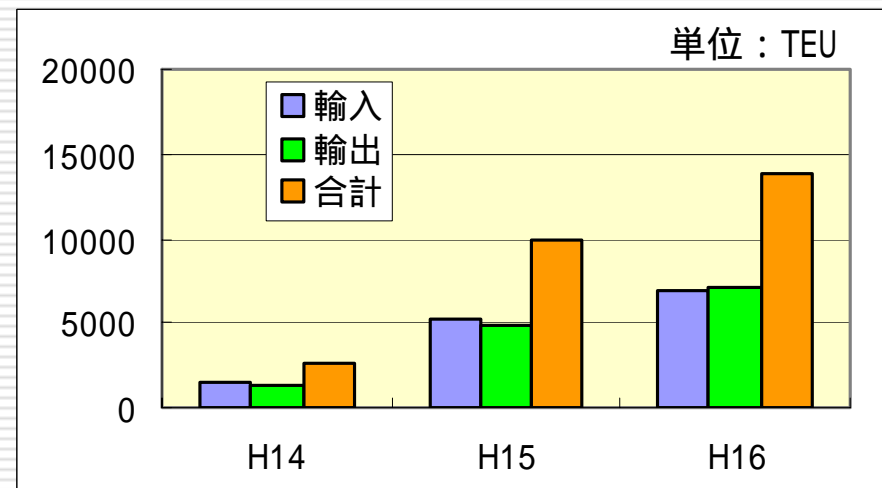
# 輸出拡大に向けた取り組み

### 外貨コンテナ貨物

釧路港の第4埠頭において - 14m岸壁が供用開始となり、平成14年8月より韓国・釜山港との外貿コンテナ定期航路が開設された。

平成16年は通年運航2年目となったが、輸出・輸入とも大幅に増加し、全体で13,873TEUと前年比39%の伸びを示した。このように外貿コンテナ貨物の取り扱いが好調であったことから、平成16年には臨時便が12便運航し、定期便と合計で64便が運航された。

【釧路港における外貨コンテナ貨物の推移】



TEU)20フィートコンテナに換算してコンテナの数量を計る単位。20 Footer Equivalent Unit。

資料)外貿コンテナ貨物の推移(北海道開発局調べの速報値)

## 東アジアなどとの関係の強化

### 釧路ー台湾ビジネスマッチング協会(事例)

釧路 - 台湾ビジネスマッチング協会は、地場産品の台湾への販路拡大を図るとともに、台湾とのさまざまなビジネス交流を通じ、釧路地域ビジネスの国際化・活性化を推進することを目的として、平成17年7月に設立された。

平成17年9月の商談会では1社、平成18年2月は5社から見積依頼(いくら、かに、昆布加工品など)があったが、今後は価格、流通など課題をクリアして、具体的なビジネスにつなげていく取り組みを進めていく予定でいる。

平成17年9月

釧路の水産関係団体と連携し、台湾及び香港のバイヤー(7社11名)を招致しての商談会開催

平成18年2月

台湾流通関係事業者約30社を現地ホテルに招致し、釧路からの出店事業者12社によるサンプル商品PRと個別商談会の実施

【台湾における  
釧路観光物産展の様子】



資料) 週刊水産新聞などより作成

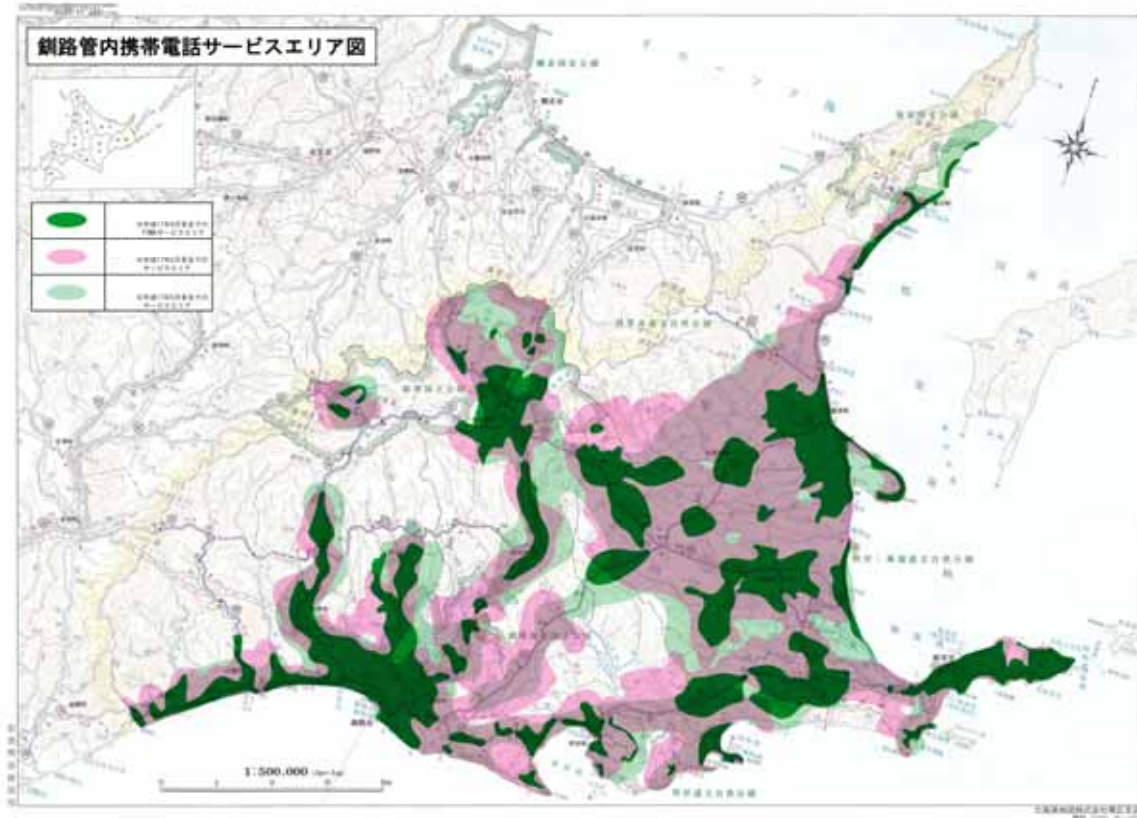
## 将来像を支える仕組みづくり

# 情報システムの確保によるユビキタスの実現

## 携帯電話サービスエリア

観光など各種情報デバイスとしての活用も期待される携帯電話だが、管内のサービスエリアをみると、国道における不通区間が約131キロとなっており、総延長の約16%に達している。

【携帯電話のサービスエリア】



資料) 釧路開発建設部調べ

## 将来像を支える仕組みづくり

### 浜中町就農者研修牧場(事例)

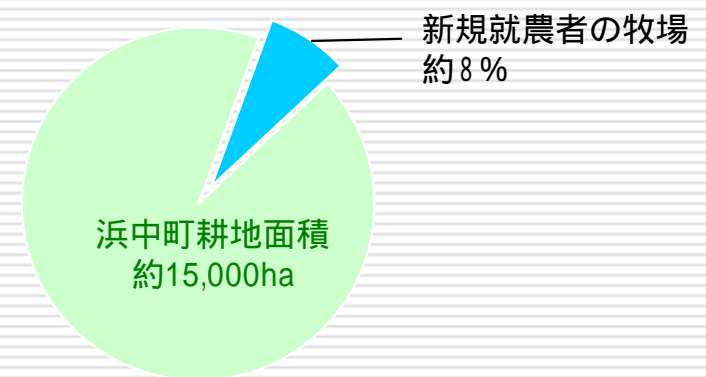
浜中町では、全国に先駆けて「新規就農者研修牧場」を建設し、乳牛100頭を擁する近代的な設備のもとで効率的に酪農技術を習得できる体制を整えた。

町では、この施設に酪農未経験者などの就農を希望する多様な人々を研修生として受け入れ、空き牧場が発生したときに、技術の習得状況によって研修生にその牧場を紹介しているが、現在までに町内に7組の牧場が開設している。

現在、浜中町全体の耕地面積は約15,000haであるが、新規就農者による牧場はそのうち1,127.4ha(23戸、うち研修終了者11戸)であり、全体の約8%を担っていることになる。

【研修終了者の牧場が占める耕地面積の割合】

【浜中町就農者研修牧場】



資料) <http://city.hokkai.or.jp/~milkfarm/intor/intro.htm>ほか

## 将来像を支える仕組みづくり

### カムイエンジニアリング(事例)

カムイ・エンジニアリング株式会社は、標茶町で誕生した大学発の環境ベンチャーで、釧路湿原や国の天然記念物のタンチョウ、日本最大の淡水魚イトウをはじめ、2000種以上の動植物が息づく湿原の環境を守りながら、地域産業を発展させていくことを目的としている。

産学官連携のもと、地域ニーズや社会的使命に支えられた地域の結束力を生かし、新しい地域発展モデルを目指しているが、事業としては 廃木材と廃プラスチック(牧草ロール)を利用したカムイウッド(木質複合材)製造のほか、植物の根の力で汚れた湖や川を蘇らせるルートネットフロートシステム、海草・海藻を蘇らせる網状リーフ構造培地の利用のほか、地元標茶高校の協力による水質浄化事業なども手掛けている。

【木粉と牧草ロールなどの廃プラスチックの混合】  
(カムイウッドの原料)



【カムイウッドの製品例】



資料) <http://cameui.jp/index.php?osCsid=6acbd4de1dcdee492c7f440fca280c29>ほか